

# IUC PFBT PhaseI

2005/5/13 N.Iida

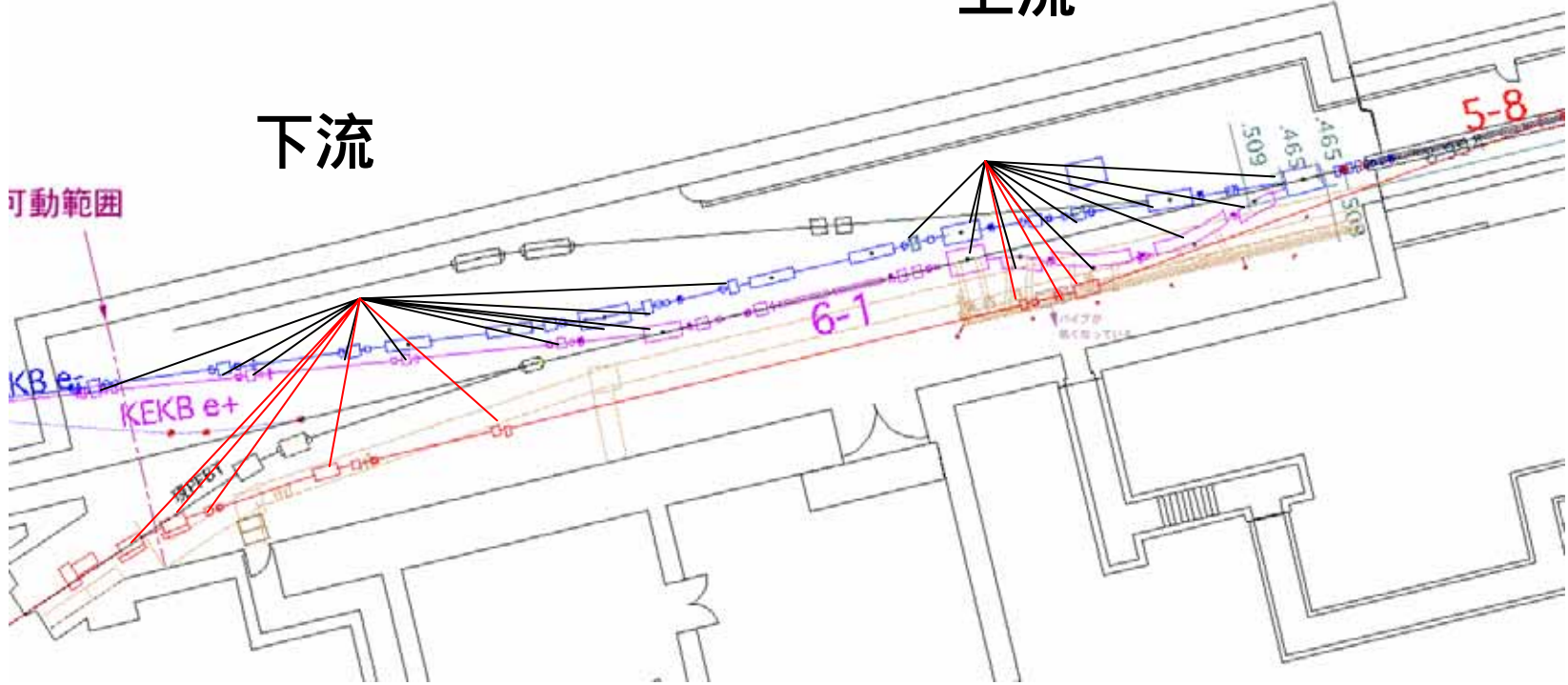
- 4/28作業報告
- 確認事項

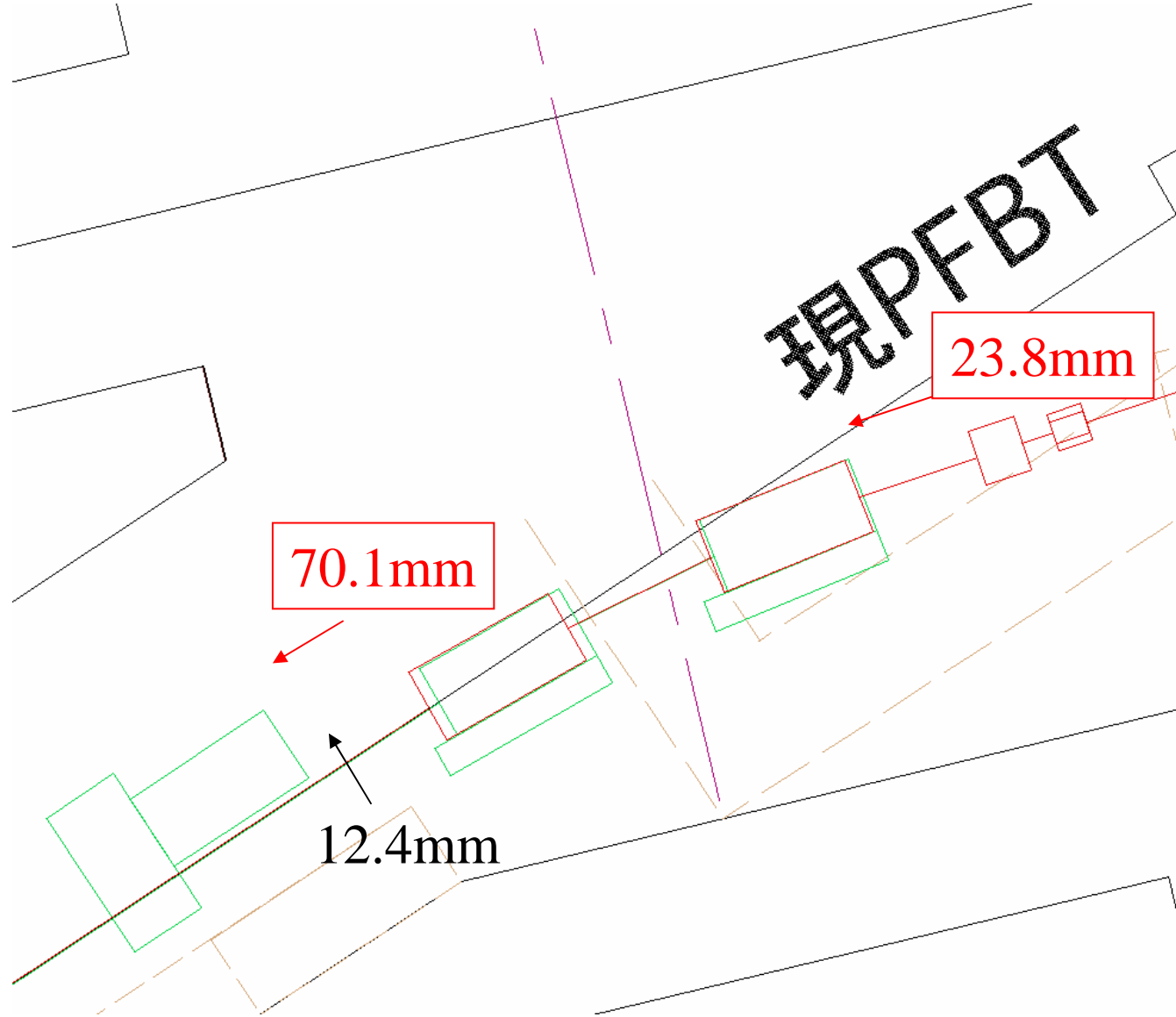
# 4/28作業報告

- 4/28(木)9:00 ~ 17:30
- KEKB/BT line 測量
  - 1998年の測量結果 (by竹内氏) と比較
    - 上流: 二乗平均で、 ~ 0.16mm。
    - 下流: 二乗平均で、 ~ 0.23mm。
  - この座標系でNew PF line の位置 (Magnet、 BPM) をマークした。
  - 今までの設計値とのずれ
    - PF lineとの合流位置が約12.4mmずれていた。
    - BH11-BH12間の距離を正確に入れていなかった。
    - BH11上流のdrift space長さを+23.8mm、 BH12下流のdrift space を-70.1mm変更の必要あり。

上流

下流





現PFBT

23.8mm

70.1mm

12.4mm

# 確認事項

- 夏の作業

- 解体

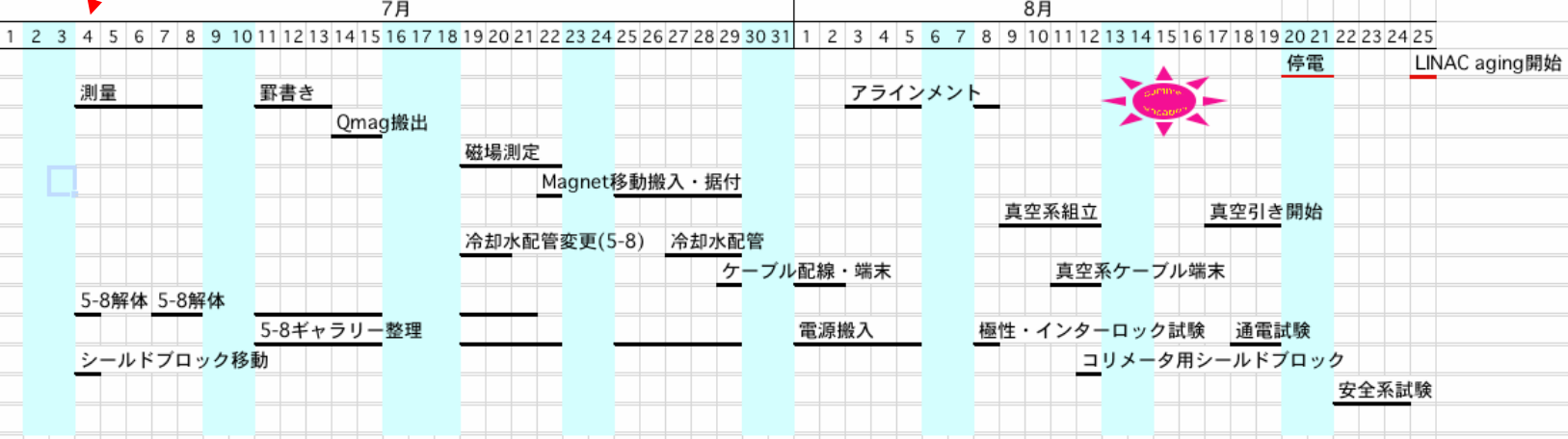
- 電磁石電線外しは、A社に依頼した。モニター類は、PFグループ?
    - 真空解体およびケーブル撤去
      - PFグループ?
      - 測量後、行う。
    - PBマグネット撤去もPFグループに。

- LINAC側の新ケーブル

- 敷設は、マグネット関係をB社、真空関係とモニター関係をC社が受け持つので、経路を相談しておくこと(5/19)。

シールド搬出

Phase-1A 工程概略 (SY3トンネル内作業のみ)



	KEK担当	担当業者	範囲・留意事項
5-8解体	紙谷		
Mag搬出搬入移動据付	飯田		測定の前にPulse bend予定地を更地にする
Mag架台	飯田		現PFBTラインのQmag(QC1)も含む
シールド	佐藤		製作(BPM架台も含め統一的に)
冷却水配管変更	竹中->施設		シールド配置
電磁石系冷却水配管	竹中		竹中経由施設
ケーブル配線	竹中		取水口の検討
磁場測定	BTG		ケーブル・ケーブルラックの敷設
測定	BTG		63φQmagと52φQmagとの比(63φQmagは3A110V) ,BP,BHO
郵便書き	BTG		各ラインの現況の測定
アラインメント	BTG		マーカの設置、新ライン・アンカー位置の郵便書き
極性・インターロック試験	紙谷		精密アラインメント
通電試験	紙谷		新設・変更箇所すべて
モニター	諏訪田		電源の立ち上げ、制御システムの立ち上げ
真空系組立	柿原		
安全系	本間		WS移動、ダクト架台の製作、設置を含む
			設計・試験

MHI : 三菱重工  
H :  
M :  
B :

# 確認事項(続き)

- 放射線シールド確認
  - BH12下流のシールドは必要か？